

## シンポジウムⅠ 「語り（ナラティブ）と対話（ダイアログ）」

- SⅠ-1 ナラティブ、その物語と語り 小森康永(愛知県がんセンター中央病院精神腫瘍科部)
- SⅠ-2 「中動態的外在化」について 斎藤環(筑波大学医学医療系社会精神保健学分野)
- SⅠ-3 非対称な対話 小林芳樹(独立行政法人国立病院機構東尾張病院)

## シンポジウムⅡ 「発達、加齢と疾病の経過」

- SⅡ-1 病前性格と（しての）発達障害 清水光恵(伊丹健康福祉事務所／兵庫県精神保健福祉センター)
- SⅡ-2 内因性精神病（統合失調症）と自閉症 広沢正孝(順天堂大学大学院)
- SⅡ-3 乳幼児期早期にみられる母子の関係病理が精神病理学と精神療法に問いかけるもの  
—なぜ関係発達精神病理学でなくてはならないか— 小林隆児(西南学院大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻)

## 一般演題

- A-1 マインドフルなダイアローグー対話が治療的であるとはどういうことか 根本豊實(磯ヶ谷病院)
- A-2 PTSD への認知行動療法についての精神病理学的考察 堀有伸<sup>1)2)3)</sup>, 鴻江蘭<sup>3)</sup>  
(<sup>1)</sup>ほりメンタルクリニック, <sup>2)</sup>福島県立医科大学災害医療支援講座 <sup>3)</sup>南相馬市立総合病院)
- A-3 psychosis における病識について 久保馨彦<sup>1)</sup>, 前田貴記<sup>2)</sup>  
(<sup>1)</sup>鶴が丘ガーデンホスピタル, <sup>2)</sup>慶應義塾大学医学部 精神神経学教室)
- A-4 がん医療におけるスピリチュアリティと意味の概念 岡島美朗(自治医科大学附属さいたま医療センター)
- A-5 境界性パーソナリティ障害における空虚感について 三笠雅也(京都大学大学院 人間・環境学研究科)
- A-6 虚無と精神病理 小笠原將之(大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室)

- A-7 妄想上の同伴者と共生する慢性期統合失調症の二例 稲川優多<sup>1)</sup>, 加藤敏<sup>1) 2)</sup>  
(<sup>1)</sup>自治医科大学附属病院, <sup>2)</sup>小山富士見台病院)
- A-8 ビンスワングアの相互主観的妄想論 山本晃(大阪教育大学)
- A-9 こころへのこだわりがもたらすもの～ASDにおける folk physics の中の psychology  
遠藤季哉(関東医療少年院)
- A-10 関係性から見た自閉症性障害と精神病の違い 総田純次(大阪府立大学人間社会システム科学研究科)
- A-11 自閉スペクトラム症を精神病理学的に理解するための試み-第6報-  
小城くみこ<sup>1)</sup>, 楠本朗<sup>1)</sup>, 赤崎安昭<sup>2)</sup>, 堀切靖<sup>3)</sup>, 森岡洋史<sup>4)</sup>  
(<sup>1)</sup>坂之上病院, <sup>2)</sup>鹿児島大学医学部保健学科, <sup>3)</sup>鹿児島県立始良病院, <sup>4)</sup>鹿児島大学)
- A-12 脳の計算理論に基づく自閉スペクトラム症の病態メカニズム仮説  
山下祐一  
(国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第七部)
- A-13 否定主導語としての了解およびその精神病理学的意義 熊崎努(東京農工大学保健管理センター)
- A-14 「自覚的現象学」の臨床における有用性～摂食障害者へのインタビュー体験より  
野間俊一(京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 精神医学)
- A-15 パーソナリティ問題の再考 — 精神病理学と司法精神医学会のコラボレーション —  
吉岡眞吾(独立行政法人国立病院機構 東尾張病院)
- B-1 80歳代で急性発症した緊張病症例についての精神病理学的検討  
菊池孝(独立行政法人国立病院機構仙台医療センター精神科)
- B-2 統合失調症の緊張病症候群に伴う身体合併症への治療戦略  
船山道隆(足利赤十字病院神経精神科)
- B-3 カタトニアにおける両価傾向とは何か —Bleuler, E. の拒絶症論から考察する  
玉田有(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院)

- B-4 現代における「生の欲望（森田正馬）」の有用性の吟味 —回避性パーソナリティ障害の2症例を通して—  
川上正憲(東京慈恵会医科大学精神医学講座)
- B-5 木村敏研究(3) —「あいだ」  
清水健信(京都大学医学部医学科4回生)
- B-6 安永理論の公理についての補完的論考2  
高野良英(東京大学医学部精神医学教室)
- B-7 アルコール・薬物依存症の精神病理 —物質選択と社会における役割—  
小松崎智恵<sup>1)</sup>, 佐藤晋爾<sup>2)</sup>, 堀孝文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>茨城県立こころの医療センター, <sup>2)</sup>茨城県立中央病院)
- B-8 嗜癖は疾患か  
本村啓介(肥前精神医療センター)
- B-9 教職員の適応障害からみえる利他主義について  
秋久長夫(公立学校共済組合関東中央病院メンタルヘルス科)
- B-10 Remanenz の成立と消滅  
芝伸太郎(もみじヶ丘病院)
- B-11 強迫の内包と外延を整理する  
小林聡幸(自治医科大学精神医学講座)
- B-12 「予言体験」(島崎) について  
岡一太郎(もみじヶ丘病院)
- B-13 Heidegger の精神医学に及ぼした影響  
和田信(大阪国際がんセンター)
- B-14 意識の“統合”をめぐる思索の系譜 —ジャネ、森田、シュルツ・ルーテ・成瀬、カバットジン—  
二木文明(東北文化学園大学医療福祉学部)
- B-15 「生の哲学的人間学」(ルートヴィヒ・クラークス) の精神症状学への寄与について  
古城慶子(国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科)

※C-1~C-5は「一般演題【症例を掘り下げる】」として後出

- C-6 Jaspers 的精神療法の可能性(2) —感情移入・共感に必要なのは「心的体験を思い描く能力」か?—  
佐藤晋爾(筑波大学医学医療系地域臨床教育センター)
- C-7 単一セッション精神療法を考える: 文献的レビュー  
齊尾武郎<sup>1)2)</sup>  
(<sup>1)</sup>フジ虎ノ門整形外科病院精神科, <sup>2)</sup>SMBC 日興証券健康管理室)

- C-8 文明社会への適応障害としての精神疾患 佐藤寛(さとうメンタルクリニック)
- C-9 Kenneth S. Kendler による E. Kraepelin 原典の再評価 ―新 Kraepelin 主義から原 Kraepelin 主義へ―  
佐々木雅明, 大前晋(国家公務員共済組合連合会虎の門病院精神科)
- C-10 意味合法則性に関する考察 工藤弘毅<sup>1)2)</sup>, 古茶大樹<sup>3)</sup>, 針間博彦<sup>4)</sup>, 前田貴記<sup>2)</sup>  
(<sup>1)</sup>東京歯科大学市川総合病院精神科, <sup>2)</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
<sup>3)</sup>聖マリアンナ医科大学神経精神科学講座, <sup>4)</sup>東京都立松沢病院精神科)
- C-11 Schneider は Jaspers に、「疾患単位は理念ではなく、経験的な現実ではないのか」と反駁した  
大前晋(国家公務員共済組合連合会虎の門病院精神科)

※C-12、C-13は「一般演題【症例を掘り下げる】」として後出

#### 一般演題【症例を掘り下げる】

- C-1 症例からみた‘意志’の症候学について 古野毅彦<sup>1)</sup>, 石原亮太<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>独立行政法人国立病院機構東京医療センター精神科)
- C-2 精神病症状エピソードを呈して以来、通院を継続している症例の長期経過について  
高橋隆夫(大湫病院)
- C-3 発達性視覚失認の一例 丹治和世<sup>1)2)</sup>, 糸井千尋<sup>1)</sup>, 加藤進昌<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>昭和大学発達障害医療研究所, <sup>2)</sup>山形県立こころの医療センター)
- C-4 ASD、人を愛するということ 塩飽耕規(医療法人遊心会にじクリニック)
- C-5 語りえぬ抑圧、気づかぬ抑圧 西郷佳世(福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座)
- C-12 敏感関係妄想の老年女性 崎川典子(東京都立松沢病院)
- C-13 「負の誇大性」が目立つ罪業妄想を呈した高齢期発症のうつ病の一例  
高野毅久(東北福祉大学せんだんホスピタル)